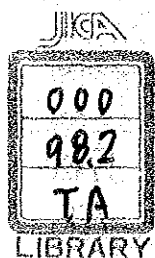


昭和58年度
(第13回)

家族計画指導者セミナー 実施要領

昭和58年9月

国際協力事業団
研修事業部



TA
JR
83-150

国際協力事業団	
受入 月日 84.5.22	000
84.10.27	982
登録No. 06802	7A

目 次

1. コース名等	1
2. コースの目的・背景	1
3. 研修方法・研修項目	1
4. 研修員参加資格要件	3
5. 研修実施体制及び運営	3
6. 研修施設	4
7. 研修教材、資機材	4
8. 研修付帯プログラム	4
9. 研修の評価	5
付表1 家族計画指導者セミナー日程	7
付表2 参加者名簿	9

JICA LIBRARY



1015647[9]

1. コース名等

- (1) 和文名： 家族計画指導者セミナー
英文名： Seminar on Family Planning Administration for Senior Officers
- (2) 研修期間
昭和58年9月15日～昭和58年10月8日
- (3) 定 員
13名
- (4) 参加実員
17名

2. コースの目的・背景

(1) コースの目的

家族計画，母子保健における我国の行政，組織体制，プログラム運営方法等の紹介と家族計画プログラムに関して，研修員相互間及び日本人専門家との意見交換を行うことを目的とする。

(2) 設立年度及び経緯

昭和46年に開始され，主に開発途上国の家族計画行政官を対象として，家族計画プログラムに係る行政上の問題，またこれに付随する諸問題を，総合的な視点よりとり上げ，研修を行ってきた。

3. 研修方法・研修項目

(1) 研修方法

研修は東京での講義，カントリープレゼンテーション，トピックディスカッションと地方視察旅行（福島県）における実地研修の二つに大別される。

東京における講義では，コースの目的（2.(1)）に沿い，かつ多角的に問題がとりあげられるよう配慮する。カントリープレゼンテーション，トピックディスカッションは，参加者の自主的参加を促し，参加者間の意見交換によって問題の発見，解決を追求する。（この過程で生まれる参加者間の相互理解や親密な雰囲気

は、スムーズな研修プログラムの運営にとって重要である。)

視察旅行は、県保健環境部から末端の地区住民組織に至る、さまざまなレベルでの意見交換と視察によって、家族計画に係る行政・組織体制・プログラム運営方法が実際にどのようにフィールドで機能しているかを研修員が自らの目で確かめ、さらに自国に応用できる点があるかどうかを検討することを主眼としている。このため、各訪問地では、説明、講義等の後に必ず十分な質疑応答の時間をとり、参加者の十全な理解を得られるよう配慮する。

(2) 研修項目

○研修項目は、別添プログラムを参照。

(3) カントリーレポート

カントリーレポートは参加研修員の国々の家族計画運動を紹介するものであるが、下記の事項を網羅するものとする。

① 一般概況

地理、気候、民族、宗教 等

② 人口統計

人口、人口密度、人口増加率、年齢構成、年齢分布、移民、労働力、地方比率、1-5才以下の割合 等

③ 健康

死亡率、病的状態、死亡原因、保健人員、保健施設、平均寿命 等

④ 政府または民間組織の家族計画諸施策

国家計画、受胎調整、IEC活動 等

⑤ 政府ベースの家族計画

組織構造、行政、予算、人員、プログラム戦略 等

⑥ 民間ベースの家族計画

組織構造、行政、予算、人員、プログラム戦略 等

⑦ 受胎調整方法

最近の避妊方法、伝統的避妊方法、不妊方法、誘発流産、結婚年齢の高齢化 等

⑧ 評価

KAP（知識、態度、実行）調査、特別調査、調査のための特別単位、フィードバック 等

⑨ 家族計画組織活動に対する研修員の興味及び意見

⑩ 今後の展望

困難な点、障害、過去の業績と今後の展望 等

4. 研修員参加資格要件

(1) 当該コースに係るGeneral Information(G.I.)に記載の次の応募条件による。

イ 当該政府より推薦され、在外日本大使館経由で日本政府に7月11日まで要請書を提出した者

ロ 中央政府または地方レベルの政府機関または民間組織における家族計画プログラムの指導的立場にある者、もしくは上級職員

ハ 英語を話し、書く能力が十分にある者

ニ コースを受けるに心身ともに健康な者

(2) 人選方法及び選考基準

4.(1)の参加要件を満たした者でかつコースの学習目的にふさわしい職歴の持主を考慮して選考する。

(3) 割当国

バングラデシュ、インド、インドネシア、マレーシア、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、エジプト、ケニア、タンザニア、コロンビア、エルサルバドル、ジャマイカ、メキシコ、以上16ヶ国

5. 研修実施体制及び運営

国際協力事業団（JICA）は、家族計画国際協力財団（JOICFP）との間に研修委託契約を結び、その契約に基づきJOICFPがJICAとの緊密な連絡と協力の下に研修を運営する。

JICAは、本研修の運営監理、通訳を目的として研修監理員を配置する。

・家族計画国際協力財団

新宿区市ヶ谷砂土原町1丁目1番地 TEL(268)5875

・研修監理員 : 船渡川 万里子(国際協力サービス・センター)

6. 研修施設

(1) 受入先

家族計画国際協力財団 セミナールーム

宿泊先

ホテルサンルート東京

渋谷区代々木2-3-1 TEL(375)3211

7. 研修教材, 資機材

教材

- (1) Family Planning in Japan
- (2) 母子衛生の主なる統計
- (3) Birds-eye View of Pop. & F.P. in Japan
- (4) Illustrated Overview of Lifelong Health Care Services in Japan
- (5) A Twenty Year History of MCH Center
- (6) A Remote Village Awakens
- (7) Where there is a Will
- (8) Household Medicine Distributors in Rural Japan
- (9) その他 講師の用意する資料

資機材

OHP、スライドプロジェクター、16mmフィルムプロジェクター

8. 研修付帯プログラム

9月16日 14:00~17:00 JICA本部にてブリーフィング及びオ

リエントリーセッション

9. 研修の評価

研修最終日にJICA, JOICFP, 研修員三者出席の下に総括討論会を開き、各研修員の意見、感想を聞くとともにfinal report を提出させる。

付表1

家族計画指導者セミナー日程

昭和58年9月15日～10月8日

家族計画国際協力財団

	09:30 - 12:00	14:00 - 17:00
9/15 木	参加者来日	
16 金	JICAブリーフィング	
17 土	09:30~10:30 歓迎の辞：山地理事長 太田 謙長 10:30~ プログラムオリエントেশション	“日本の人口・家族計画” 片桐 為精（家族計画国際協力財団常任理事）
18 日	休 日	
19 月	“日本の人口と社会経済発展” 岡崎 陽一（厚生省人口問題研究所長）	“日本の家族計画運動” 園井 長次郎（家族計画国際協力財団常任理事）
20 火	カンントリーブレイクセッション 1) (2)	カンントリーブレイクセッション 3) (4) 5) TAS
21 水	カンントリーブレイクセッション 6) (7)	カンントリーブレイクセッション 8) (9) 10) 歓迎レセプション 於：サンルートホテル
22 木	カンントリーブレイクセッション 11) (12)	カンントリーブレイクセッション 13) (14) 15)
23 金	休 日	
24 土	カンントリーブレイクセッション 16) (17)	フィールドトリップオリエントেশション
25 日	休 日	
26 月	移 動 東京 - 福島	県知事委政 県保健福祉部 “県衛生行政概況” “具母子保健・家族計画行政” （財）福島県保健衛生協会 “民間団体の地域保健活動”
27 火	福島県立医科大学 岡付風病院	大玉村役場 “村レベルにおける母子保健活動” 大玉村母子保健センター “地域におけるボランティア団体の住民活動”
28 水	二松保健所 “母子保健・家族計画活動における保健所の役割”	福島県赤十字血液センター “地域互助活動” “人と生活” 民家訪問（菅苗代町内） 野口記念館見学 移 動
29 木	大玉村立玉井幼稚園 “幼児保健と幼児教育” 菅苗代町立菅苗小学校 “学校保健と学校教育”	福島県赤十字血液センター “地域互助活動” 民家訪問（菅苗代町内） 野口記念館見学 移 動
10/1 土	地動産業員学（会津若松市） 会津漆器工場団地 “地場産業と地域保健”	郡 山 - 東 京
2 日	休 日	
3 月	トピックディスカッション	“日本の母子保健・家族計画行政” 橋爪 章（厚生省児童家庭局母子衛生課）
4 火	“日本の地域保健活動の姿” 平良 尊純（厚生省公衆衛生局企画課課長補佐）	“家族計画とヒューマンコミュニケーション” OHP等の教育工学について 米武 国弘（神奈川大学教授／東京工業大学名誉教授）
5 水	“インテグレーション・プロジェクトの実施方法と 各国におけるプロジェクト進捗状況” 片桐 為精（家族計画国際協力財団常任理事）	“家族計画視覚教材の制作と利用” 大隅 紀和（国立教育研究所主任研究官）
6 木	“健康教育・コミュニケーション・ガエゼーション・住民参加” 宮坂 忠夫（女子栄養大学教授／東京大学名誉教授）	“戦後の婦人労働の姿” 佐藤 キン子（労働省婦人少年高婦人労働課長）
7 金	“日本の人口・家族計画医療協力における国際協力” 中澤 幸一（国際協力事業団医療協力部長）	16:30~ JICA 閉講式（於：TIC）
8 土	参加者帰国	

Participants List

参加者リスト

Argentina (アルゼンチン)

Dr. Alejandro José Ridley
アレハンドロ ホセ リドレイ (男 35才)

Chief Instructor in Obstetrics and Gynecology,
Family Planning Section, General Hospital
National University of Rosario

国立ロサリオ大学総合附属病院 家族計画課
産婦人科主任教授

Colombia (コロンビア)

Mr. Federico Klifford Rocuts Soto
フェデリコ クリフネード ロカツ ソト
(男 33才)

Director, Community Health Research and
Educational Department, Santa Fe De Bogota
Foundation

サンタ・ボゴタ基金
地域保健調査・教育部部長

Indonesia (インドネシア)

Mr. Zainal Abidin
ザイナル アビディン (男 50才)

Chief, Administration Division, National
Family Planning Coordinating Board, Jakarta

国家家族計画調整委員会 ジャカルタ地区担当
行政課課長

India (インド)

Dr. Biswa Nath Halder
ビスワ ナス ハルダー (男 57才)

Deputy Commissioner, Family Welfare
Ministry of Health and Family Welfare

保健・家庭福祉省
家庭福祉局次長

Mexico (メキシコ)

Dr. Mauricio Garduño Navarro
マウリシオ ガルドウニョ ナバロ
(男 50才)

Area Director, Health Services in Mexico City,
Ministry of Health

保健省
メキシコ市地域保健サービス部長

Dr. Carlos Gutierrez M.
カルロス グティエレス (男 46才)

Medical Service in factory, Mexican Institute
of Social Security

メキシコ社会保障委員会
職域医療サービス担当

Nepal (ネパール)

Mr. Shanker Shah

シャンカー シャー

(男 33才)

Chief Executive, Family Planning Association
of Nepal

ネパール家族計画協会

実行委員会幹部

Nigeria (ナイジェリア)

Dr. Oluyemi Akinadewo

オルエミ アキナデウォ

(男 37才)

Assistant Chief, Scientific Officer, Federal
Ministry of Science and Technology

科学技術省 科学オフィサー

保健サービス担当

Philippines (フィリピン)

Mrs. Mia Catral Ventura

ミア カトラル ベンツラ

(女 38才)

Population, Programs Coordinator, Commission
on Population

人口委員会

人口プログラムコーディネーター

Dr. Linda S. Luntao-Milan

リンダ S. ルンタオーミラン

(女 34才)

Medical Specialist, National Family Planning
Officer, Ministry of Health

保健省

国家家族計画統括室 医療専門官

Sri Lanka (スリランカ)

Dr. Kalupe Hewage Priyantha

カルペ ヘワゲ プリヤンサ

(男 33才)

Medical Officer, Department of Health Services
Ministry of Health

保健省 保健サービス部

医療担当官

Tanzania (タンザニア)

Dr. Ombeni Yonazi Mbwambo

オンベニ ヨナザ ムワンボ

(男 31才)

Senior Medical Officer, Head of the Medical
Unit, Dar Es Salaam Harbours, Tanzania
Harbours Authority

タンザニア港湾公団

ダレスサラム港 医療部部长

医療専門官

Thailand (タイ)

Dr. Prapaipan Subhachaturas

プラパイパン サブハチャトラス

(女 45才)

Head of MCH Sector, Health Promotion Division,
Department of Health, Bangkok Metropolis

バンコク首都圏保健部 健康増進課

母子保健課長

Ms. Revadee Dejphol

レバディー デジフォル

(女 35才)

Policy and Plan Analyst, Technical Cooperation
Division, Medical Services Department, Devavesm
Palace

デバベスム宮殿 医療サービス部

技術協力課 政策企画アナリスト

